

## 会社概要

---

### 会社概要

社名	株式会社不二新製作所
設立	1969年2月
資本金	1,000万円
従業員数	10名
所在地	【本社】大阪市平野区加美南4丁目1-21 JR おおさか東線、関西本線『久宝寺駅』、『加美駅』より徒歩約10分
事業内容	鉄、非鉄金属、樹脂等各種素材に対するグンドリル加工及びBTA加工、 複合旋盤加工、マシニング加工等
取引社数	自動車メーカー、鉄道、液晶、半導体、機械メーカー、医療機器メーカー、食品メーカーなど 約2000社

NEXT INNOVATION

CORPORATE INFORMATION  
FUJISHIN CORPORATION



高度な専門性が求められる「貫く」技術。

# 他社に追従を許さない圧倒的技術と付加価値。

Overwhelming technology and added value.

「貫く」という言葉は非常に気持ちのいい言葉です。“首尾一貫” “一以貫之” “初志貫徹”。最初から最後まで一貫して何かを貫き通すということは決して簡単ではありません。しかし、貫き通した先にはこれまで見えなかった景色が広がっています。皆さんの中にもこれまで一つの事を貫いて成功したという経験をお持ちの方も多いかと思います。どんなことでも構いませんが、何かを“貫き”通した経験をお持ちの方ならその厳しさと先に待っている素晴らしい景色を想像できるでしょう。

私にも一つ“貫く”決意をしていることがあります。それは「不二新製作所とそこで働く社員とその家族を未来永劫守り抜くという事」です。もちろんその為には、会社として利益を生み出し続け社会貢献を果たさねばなりません。そこで、当社は金属や非鉄金属等のあらゆる素材に精密な穴をあける『深穴・細穴加工』という特殊な技術に特化し技術力をひたすら極め貫くことで業績を伸ばし続けてきました。“穴をあける加工”は一見何の変哲もない地味な加工に思われるかもしれませんが。しかし当社はこの“精密に深く穴をあける”ということに、とことんこだわり技術力、品質、スピード、信頼性、コストあらゆる点において日本で一番の会社だと評価して頂いております。

社会人としてどの会社に入社するかは、とても重要です。多くの時間をその会社で過ごすわけですから、その選択が人生を変えるといっても大げさではないでしょう。だからこそ、自身の目でしっかり見て、感じてほしいと思います。この会社に入って自分は何がしたいのか、仕事を通じてどんな社会貢献ができるのか。会社の規模や報酬、企業名だけで選ぶのではなく、その会社のビジョンに共感できるか、その会社の雰囲気に溶け込めるかを考えて自分が働く会社を決めるべきではないでしょうか。共鳴した方は是非私に会いに来てください。

Otoma Hideshi  
代表取締役 乙間 英司



## 2000社以上の取引先がある超安定企業

「真っすぐに穴をあける」この一見地味な加工は、実は様々なモノづくりの上流工程において欠かすことのできない加工であり、その加工のスペシャリストである当社は非常に幅広い業界から引き合いを頂いています。ありがたいことに口コミや反響営業のみで年100～150社のペースで新たなお問い合わせも頂いており、今ではなんと2000社を超えるお客様とお取引をし、安定した業績をあげ続けています。しかし、これまで全てが順風満帆だったわけではありません。どの会社にも負けない究極の技術を求めて、朝から晩までとことん機械と向き合い、何度もドリルを折り、何度も失敗を繰り返し途方に暮れたこともありました。そして辿り着いた私の結論が「マシン」「工具」「オイル」にこだわることでした。今では国内に存在する800以上の金属に関わるデータを蓄積し、それぞれの素材に合った無二の加工を施すことが可能になりました。

## 新たな時代に向けた幹部候補の募集

新型コロナウイルスの世界的な大流行により、誰もが働き方、暮らし方など公私にわたり多大な影響を受けることになりました。時代は大きく変化し、これに対応・進化していくことが待たなしの状況です。私はこんな時代だからこそ攻める姿勢を続けることで未来を切り開くことができると考えています。当社は現在10人という非常に小規模の会社ですが、今後10年で40名規模まで拡大させ、営業、品質管理、技術開発、総務など各部署を組織化していき、世の中の変化にも充分に対応できる強固な企業へと改変していくつもりです。そんな組織を作る為にもそれぞれの部署を束ねていく生え抜きのメンバーは必須と考えており、この新卒採用はそんな人材を採用し育成していく、会社として重要な位置づけです。私と一緒に組織を創っていきたい方を募集しています。

### SDGsへの取り組み

#### ◆地球環境を守る

加工技術の向上に邁進し、環境に配慮したガンドリル加工を手掛けることで広く社会に貢献してまいります。

#### 【主な取組】

- ・非塩素系切削油剤の使用
- ・不要なコピー用紙のアップサイクル
- ・太陽光発電システムやLED導入



#### ◆職場環境づくり

社員一人ひとりを大切に思い、働き甲斐が感じられる職場づくりや、健康に配慮した経営を行ってまいります。

#### 【主な取組】

- ・「健康経営優良法人」認定に基づく従業員の健康作りの促進
- ・柔軟な勤務形態の整備
- ・社内外の研修を通じた人材育成の実施



#### ◆将来を担う子供の平等な教育を

次世代を担う世界の子供たちに、教育分野での社会貢献活動を継続してまいります。

#### 【主な取組】

- ・CIESFへの寄付
- ・寄付型自動販売機の設置





# 1

不二新の技術は  
こんなところで  
活躍しています

■ 自動車・二輪業界・・・クランクシャフト・ステアリングロッドなど



■ 建築業界・・・クレーンの連結ロール部品、ショベルカーのアームなど



■ 航空業界・・・油圧穴・ジェットエンジンなど



■ 食品業界・・・大手飲料メーカーの飲料水の充填機、食品工場ラインなど



■ その他・・・製造業での金型部品、踏切、半導体・液晶パネル製造装置など



挙げ始めたらきりがありませんが、この穴をあけるという技術はあらゆる業界で必要とされる技術です。  
「他社では不可能な技術」を武器に、コツコツとお取引先を増やし現在では  
**2000社**を超える、幅広い業種のお客様とお取引をさせて頂き安定した業績を  
上げ続けています。

# 2

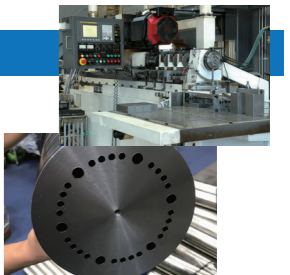
高品質かつ  
高速量産による  
異次元のモノづくり

穴をあけること自体は決して難しい技術ではありません。しかし、当社は他社と一味違います。品質・精度・コスト・スピード全ての面において圧倒的であり、日本一の技術を誇ります。  
鋼鉄に直径わずか1ミリ （実寸大（このサイズ）） で、深さ100mmの穴を真っすぐ貫通させ、なおかつ高品質で高速量産が可能な異次元の世界のモノづくりを行っています。



■ ガンドリルマシン

名前の通り、元々銃の銃身の穴をあける目的でつくられた特殊機械。主に軍事産業で発展した技術を産業分野に応用したものです。当社はこのマシンを駆使し、「穴をあける」加工を行っており、この分野のスペシャリストとして「質」「速さ」に圧倒的付加価値を持っています。



# 3

不二新の  
モノづくりの  
秘密

国内で手に入るほぼすべての素材加工データを蓄積し、それぞれの素材に合わせた加工方法、マシンのセッティング、切削油の注入量、工具の種類全ての条件を最適に融合させることで“超”高品質製品を生み出しています。最後に『人』が加わり、全てのバランスが揃ってこの究極の加工が初めて可能となるのです。一つたりとも欠けていいものはありません。



■ マシン

回転速度、油の注入量、トルク、圧力すべての要素を考慮し、自社開発で作り出したこの世に一つのガンドリルマシンを使用。間違いなく世界最高のガンドリルマシンです。

■ オイル

世界一のオイルメーカーにガンドリルに適したこの世に一つだけの切削油を特注で製造してもらっています。また、作業者の“手の荒れ”まで配慮したガンドリルの為だけの最上級の「塩素フリー」オイルです。

■ 工具

実際に穴をあける刃となるドリル部分にももちろんこだわりを持っています。日本国内ではなく、ヨーロッパにある世界トップのメーカーとタッグを組み、設計開発を行っています。



技術営業職 — Technical sales

厳しさも温かさも  
真剣に向き合うのが  
不二新流。

近畿大学 経営部 商学科  
営業管理部 マネージャー  
**五十嵐 健人** Igarashi Kento

少数精鋭のため自らの裁量が大きく、挑戦できる環境であること。また、成長期であるこの会社でチャレンジしたいと思入社に踏み切りました。現在、技術営業職として見積回答からお客様と現場の加工メンバーとの擦り合わせ業務、協力会社との折衝、技術提案、採用業務と幅広く仕事を任せて頂いています。また、最近ではテレビ出演などの広報活動も私の仕事です。

現在日本国内で手に入る金属は800種類にのぼると言われており、一つ一つに特徴があります。当社の加工はミリ単位の世界ですので、それぞれの材質に合わせて現場の加工者と密にコミュニケーションを取り、必要に応じて協力会社と折衝し、お客様が望む条件で納品することが私の使命です。また他社では断られた案件が舞い込むこともしばしばあり、今まで蓄積したノウハウと技術を駆使し、不可能を可能にすることが「加工に困った時には不二新製作

所に頼めば何とかしてくれる。」というブランド作りになっていると考えています。難しい加工を実現し、高品質な製品をお届けできた際は非常に達成感がありますし、自分が加工を行ってはいませんが、お客様と直接やり取りをする中で会社の顔として認識されることはやりがいに繋がっています。

私自身少しずつ組織や経営の土台を固めながら、お客様との信頼関係を強固なものにしていくのが、現段階での最重要課題だと感じています。代表の挨拶にもあったように、不二新は10年で変革の時を迎えようとしています。「私達と一緒に会社をつくっていききたい」「社長の右腕・左腕として活躍していきたい」という方にはピッタリの会社だと思います。厳しさも温かさも、真剣に向き合うのが不二新の流儀。仕事に懸ける想いやスタンスは全て伝えるつもりです。一緒に人生を懸けて働きませんか。



技術職 — Technical

誰と働くかを重視して選んだ  
不二新製作所。大満足して、  
他社にはない技術を積んでいます。

大阪産業大学 工学部 交通機械学科  
製造技術部  
**眞鍋 勇也** Manabe Yuya

「どこまでも真っすぐ貫く深いモノづくり」。ホームページでこの言葉を見て、すぐにこの会社に興味を持ちました。なんとなく「モノづくりに関わることができたらいいな」とスタートした就職活動ですが、様々な企業に出会う度に“何をしている会社か”ではなく“どんな人がいる会社か”が重要であることに気づきました。説明会や社内見学では、明るくて温かい雰囲気を感じましたし、製品の加工に対して非常に情熱的な人ばかりだという印象を受けました。そして選考を重ねるうちに、真っすぐな社風と人柄に惹かれ「この会社でこの人たちと一緒に技術力を伸ばしていきたい」と思い、入社を決断しました。

入社後のギャップもなく、歳の近い先輩が基本的な仕事を教えてくれ少しずつ出来る事も増えてきました。まだまだ経験もスキルも浅いですが、0.01mm以下の精度を突き詰めて加工を行う、先輩方の真摯な姿勢を見

て、様々な知識と技術を吸収し、「穴を空ける」加工のプロフェッショナルになれるように日々努力しています。また、若い社員も増え非常に社内の雰囲気も明るい環境です。工場内は非常に清潔で、照明も明るく、空調設備も完備されていますので夏でも涼しく、冬でも温かい環境で働けます。加工に使用する工作油も、作業者に優しい独自のものを使用していますので、匂いも少なく安心して働くことが出来る工場です。

今後は後輩も増えていくので、これまで教わり経験したことを、次の世代にもしっかりと継承する事が自分の役割だと考えています。新卒で入社し、知識や経験のないメンバーも活躍しているので「自分の手でイメージを形にできる真のモノづくりに触れてみたい」「気さくで明るい人達と働きたい」「世界に必要とされる技術力を身につけたい」一つでも当てはまれば、一度お話を聞きに来てください。

